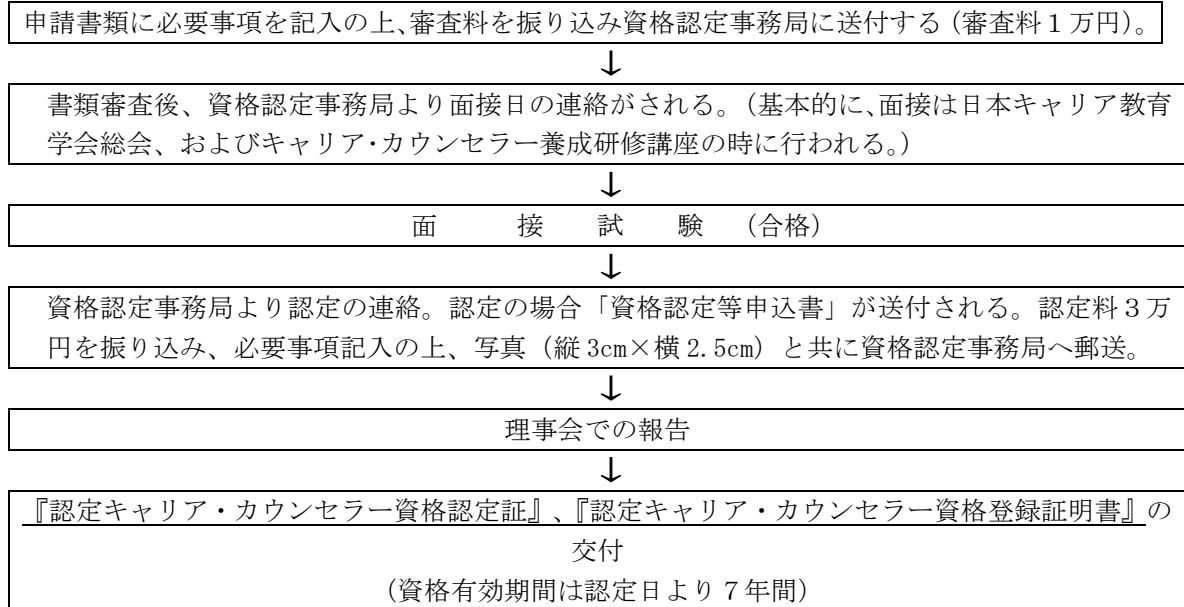


日本キャリア教育学会認定キャリア・カウンセラー

資格認定申込要領

【申込から認定までのスケジュール】



資格認定申請書等記入方式

（「日本キャリア教育学会認定キャリア・カウンセラー資格認定基準の手続き」に基づく。）

【記入注意事項】

- ※各項目について、できる限り、それらを証明できる資料を添える。（例：講座修了証、委嘱状、論文コピー、在職証明書などでコピー可）
- ※それぞれの記入欄以上に記入事項がある方は、特にキャリア・カウンセリング、進路指導に関わるものを中心に選択して記入する。
- ※「※点」の欄は資格認定委員会で記入するので記入しない。
- ※添付資料には番号を付し、表中「資料NO.」の欄にその番号を記入する。
- ※提出された書類、添付書類等は返却しない。

申請書類その1

- ① 必要事項を記入する。
- ② 学会IDは、学会からの郵送物の住所欄にある4桁の数字である。

申請書類その2

- ① 学歴は旧制中学・高等学校卒業より記入する。
- ② 職歴は主たるものを記入する。特に進路指導、カウンセリング関係（進路指導主事など）の履歴を記入する。
※記入欄不足の場合は用紙をコピーし添付する。

申請書類その3・4

A キャリア・カウンセラー基礎講座（以下「基礎講座」と称する。）

- (1) 本学会の「基礎講座」(修了試験含む)の受講について
受講講座テーマ：修了証に記載してある講座テーマを記載する。
講座修了証のコピーを添付する。

B キャリア・カウンセラー研修

- (2) 本学会の「キャリア・カウンセラー研修講座」への参加
受講講座：受講講座の詳細を記入する。
講座修了証のコピーを添付する。
講師経験：講師経験詳細欄を記入する。
資料は、講師依頼文章、大会・セミナープログラム等のコピーを添付する。

申請書類その4

C 研究・研修活動

- (3) 本学会の「研究大会、セミナー研修講座」への参加並びに本学会地区部会への参加
研究会等の名称：第何回の研究大会、セミナー、地区部会等を記入する。
参加年月：大会、セミナー、地区部会への参加年月を記入する。
講演・発表テーマ：講演者・発表者に関しては、講演・発表のテーマ等を記入する。
参加形態：講師、研究発表者、参加・受講者のいずれかを記入する。
資料は開催プログラムや氏名が掲載されているものを添付する。

申請書類その5

- (4) 本学会の主として資格認定委員会が開催する「特別講座等」(研修講座を除く)への参加
講座名の名称：受講した講座名称を記入する。
受講年度：講座受講年度を記入する。
資料は講座修了証(コピー)を添付する。
- (5) 文部科学省、厚生労働省、経済産業省、都道府県教育委員会などの主催する進路指導・カウンセリング等の研究会・研修会への参加
参加年月：研究会、研修会への参加年月を記入する。
主催：主催団体名、研究会名を記入する。
研究大会・研修会名称：研究会、研修会のテーマ等を記入する。
発表テーマ：発表者に関しては発表テーマを記入する。
参加形態：講師、研究発表者、参加者・受講者のいずれかを記入する。
資料は開催プログラムや氏名が掲載されているものを添付する。

申請書類その6

- (6) 日本進路指導協会、全国中学校進路指導連絡協議会、全国高等学校進路指導連絡協議会等の学校教育に関連する研究・研修講座への参加
参加年月：研究会、研修会への参加年月を記入する。
主催：主催団体名、研究会名を記入する。
研究大会・研修会名称：研究会、研修会のテーマ等を記入する。
発表テーマ：発表者に関しては発表テーマを記入する。
参加形態：講師、研究発表者、参加者・受講者のいずれかを記入する。
資料は開催プログラムや氏名が掲載されているものを添付する。

(7) 本学会が認める他学会への参加

参加年月：研究会、研修会への参加年月を記入する。

学会名：主催学会名を記入する。

研究大会・研修会名称：大会、セミナー等の名称を記入する。

参加形態：研究発表者・シンポジスト等、参加者・受講者のいずれかを記入。

資料は開催プログラムや氏名が掲載されているものを添付する。

(例) 日本カウンセリング学会、日本キャリアデザイン学会、日本教育カウンセリング学会、日本教育心理学会、日本産業カウンセリング学会、日本産業教育学会、日本心理学会、日本発達心理学会、などがある。これ以外の学会の場合も、キャリア教育にかかわる日本学術会議協力学術研究団体であること。但し、IAEVG、ARACD、日本産業カウンセラー協会、日本教育カウンセラー協会などは特に同等と認める。

注：IAEVG (International Association for Educational and Vocational Guidance), ARACD (Asian Regional Association for Career Development)

申請書類その7

(8) キャリア・カウンセリングに関わる単位修得について

単位を履修した大学等名称、講義・演習の名称及び、担当指導者名（わからない場合は空欄）

取得単位数：単位数を記入する。

単位取得年度：単位を履修・取得した年度を記入する。

資料は単位取得証明書のコピーを添付する。

申請書類その8

D 実務経験

※この領域の実践がない者は、B領域の研修講座の4分野の全て（6時間以上：20点）の追加受講を必修とする。

(9) 大学・短期大学等でのキャリアに関わる講義・演習を授業（15コマ）として担当若しくはキャリアの内容を講座として数回担当の実績

（科目・講座例：進路指導、カウンセリング、生徒指導、特別活動、キャリア講座等）

資料は担当科目の非常勤講師委嘱状等、掲載されたシラバスのコピーを添付する。

年間数回担当の場合も同様の書類を添付する。

(10) 中学校、高等学校における進路指導主事（進路指導主任）及び各種学校、大学、短大等で進路指導、就職指導を常勤として担当の実績

該当する実績を記入する。

資料は委嘱状、または証明になる書類などのコピーを添付する。

(11) 学校、教育相談所（センター）、企業あるいは行政機関等の相談機関におけるキャリア支援の経験に該当する実績を記入する。専任か非常勤かの違いを明確にする。

資料は委嘱状、または証明になる書類などのコピーを添付する。

(12) 小学校、中学校、高等学校でのクラス担任の経験

(13) 教育管理職（校長、副校長・教頭、指導主事など）の経験

申請書類その9

E 研究・執筆活動

(14) キャリア・カウンセリングに関する著書（単著に限る）

必要事項を記入する。

資料は、著書の表紙・目次・奥付をコピーする。書籍の添付も可（但し返却しない）。

- (15) キャリア・カウンセリングに関する著書、翻訳書（申請者が主として執筆した部分のみ対象）
必要事項を記入する。執筆の文字数を記載する。
資料は、著書の表紙・目次・奥付をコピーする。書籍の添付も可（但し返却しない）。
執筆者数：共著の場合は記入する。
- (16) 学術誌等に審査を経て掲載されたキャリア・カウンセリングに関わる研究論文・実践報告について
必要事項を記入する。
資料は、論文誌の表紙、目次などをコピーする。抜き刷り等の添付も可。
区分：該当するものに○を付する。
執筆者数：共著の場合はご記入する。

申請書類その10

- (17) 学校・研究所等の紀要や報告書などに、無審査で掲載されたキャリア・カウンセリングに関わる研究論文・実践報告
必要事項を記入する。
資料は、論文誌の表紙、目次などをコピーして下さい。抜き刷りの添付の添付も可。
- (18) キャリア・カウンセリングに関わるテーマで修士論文を執筆し、修士の学位を持つ場合
修士論文テーマ、大学院名、執筆年度を記入する。
資料として論文のコピーの添付も可。コピーが困難な場合は、要約のコピーのみでも可。
- (19) キャリア・カウンセリングに関わるテーマで博士論文を執筆し、博士の学位を持つ場合
博士論文テーマ、大学院名、執筆年度を記入する。
資料として論文のコピーの添付も可。コピーが困難な場合は、要約のコピーのみでも可。

申請書類その11

F 教職免許関係

- (20) 教育職員免許法の教職に関する科目「生徒指導・教育相談・進路指導」に関する科目履修について
単位数：取得単位数を記入する。
大学名：履修した大学名を記入する。
取得年度：取得した年度を記入する。
- (21) 教育職員免許法の教科に関する科目「職業指導」に関する科目履修について
単位数：取得単位数を記入する。
大学名：履修した大学名を記入する。
取得年度：取得した年度を記入する。
- (22) 教育職員免許法による「職業指導」の免許状所有について
所有：該当するものに○印を付する。

G その他

- (23) 文部科学省、都道府県教育委員会等への協力・業績
業績年月：年月を記入する。
具体的な内容：具体的な内容（例：手引書の作成等）を記入する。
対象：文部科学省、各都道府県、市町村教育委員会、学校名等を記入する。

申請書類その12

- その他特記事項：キャリア教育、進路指導、カウンセリングに関わることで、特に特記事項がある方は記入する。
志望動機：認定キャリア・カウンセラー資格の志望動機を記入する。
付則1 平成29年10月14日改定(平成30年4月1日施行)